



JASDAQ

平成 26 年 4 月 4 日

各 位

会 社 名 ウチダエスコ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 江口 英則  
(コード: 4699、東証JASDAQ)  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員  
管理本部長 久保 博幸  
(TEL047-382-4141)

(訂正) 「平成 25 年 7 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕  
(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 2 月 27 日付適時開示「平成 26 年 7 月期第 2 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 5 月 23 日付「平成 25 年 7 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

平成25年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月23日

上場会社名 ウチダエスコ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武井 均  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)久保 博幸 (TEL)047(382)4141  
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第3四半期の連結業績(平成24年7月21日～平成25年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	9,074	△0.0	618	64.5	628	63.9	367	119.5
24年7月期第3四半期	9,078	10.4	375	△13.6	383	△13.7	167	△32.5

(注) 包括利益 25年7月期第3四半期 376百万円(127.3%) 24年7月期第3四半期 165百万円(△32.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第3四半期	102.09	—
24年7月期第3四半期	46.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第3四半期	8,214	3,351	40.8
24年7月期	7,906	3,029	38.3

(参考) 自己資本 25年7月期第3四半期 3,351百万円 24年7月期 3,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年7月期	—	0.00	—		
25年7月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年7月21日～平成25年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	1.6	710	18.7	720	17.8	430	44.4	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年7月期3Q	3,600,000株	24年7月期	3,600,000株
② 期末自己株式数	25年7月期3Q	3,473株	24年7月期	3,473株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年7月期3Q	3,596,527株	24年7月期3Q	3,596,527株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期のはじめは主要新興国も含めた世界的な景気減速や円高の長期化などの要因により、輸出や生産が落ち込みましたが、その後の米国経済をはじめとした海外経済の緩やかな回復並びに12月に発足した新政権の経済政策期待から株高、円安が進行、生産や個人消費が持ち直すなど景気改善の動きが見られました。

このような環境下、当連結グループは、第8次中期経営計画を推進、本中計の最終年度となる当連結会計年度においては、クラウドコンピューティングに対応するサーバー等の仮想化案件への取り組み強化など、「高付加価値技術戦略の推進（質の転換）」、「サービス・サポート品質の向上」、「経営基盤の更なる強化」を重点施策に掲げ、その着実な達成に向けて取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、中核のフィールドサポート事業が着実に売上を伸ばし、業容を拡大するとともに、オフィスシステム事業も堅調に推移、また、ソフトウェアサポート事業においてもプロジェクト管理の強化を図り、事業採算が改善した結果、売上高は90億7千4百万円（前年同四半期比0.0%減）と微減ながら、利益面では売上総利益率が29.3%と2.5ポイント向上したことにより、売上総利益は26億6千万円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は6億1千8百万円（同64.5%増）、経常利益は6億2千8百万円（同63.9%増）、四半期純利益は3億6千7百万円（同119.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

## (フィールドサポート事業)

「量の拡大」（第一のエンジン）としては、コンピュータメーカーやシステムインテグレーターへの営業強化、更なる生産性の向上を図ることにより、保守・ネットワーク構築案件の取扱量の拡大に取り組むと同時に、「質の転換」（第二のエンジン）としては、CE（カスタマーエンジニア）のSE化の推進並びにクラウドコンピューティング市場に対応出来る仮想化技術者の増強を図り、仮想化案件の獲得に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、学校市場、民間市場双方における案件受注が増加した結果、売上高は55億6千7百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は6億1千1百万円（同21.9%増）と増収、増益となりました。

## (オフィスシステム事業)

きめ細かな販売促進活動による直接販売の強化、顧客ニーズに即したWebビジネス（Net 2 B）の推進による受注拡大並びに当社の有する様々なICT関連サービス&サポートを提供するワンストップの商談推進に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、各種チャネルを通じた販売強化、オフィス移転案件の増加により増収となりました。また、受発注業務のWeb活用等によりコスト低減を図った結果、売上高は25億9千1百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は4千8百万円（同52.6%増）となりました。

## (ソフトウェアサポート事業)

市町村をはじめとしたサポート案件の受注拡大、生産性向上によるコスト削減、見積精度の向上並びにプロジェクトマネジメントシステム（P r o m i s e）の運用強化によるサポート品質の向上を課題に掲げ、取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、前期の大型の市町村サポート案件の反動もあり、売上減となりましたが、プロジェクト管理の徹底等によりコスト統制に努めた結果、利益面で大幅に改善することができました。売上高は9億1千5百万円（前年同四半期比16.8%減）、営業損失4千2百万円（前年同四半期は営業損失1億5千8百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、82億1千4百万円と前連結会計年度末比3億8百万円増加しました。これは流動資産が、受取手形の減少（3億1百万円）等はありませんでしたが、現預金の増加（3億2千5百万円）、繰延税金資産の増加（9千2百万円）、売掛金の増加（6千4百万円）等により2億5千2百万円増加し、固定資産が、敷金及び保証金の増加（4千8百万円）等により5千6百万円増加したことによります。流動負債は、賞与引当金の増加（2億3千2百万円）、未払法人税等の増加（1億1千3百万円）、買掛金の増加（6千4百万円）等はありませんでしたが、支払手形の減少（2億9千6百万円）、短期借入金の減少（1億5百万円）、預り金の減少（6千1百万円）等により前連結会計年度末比4千7百万円減少し、固定負債は、リース債務の増加（2千2百万円）等により3千3百万円増加しました。純資産は、33億5千1百万円と前連結会計年度末比3億2千2百万円増加し、自己資本比率は、40.8%と前連結会計年度末比2.5ポイント上昇しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の連結業績見通しは、平成24年8月31日付「平成24年7月期決算短信」にて公表しました数値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった(株)エスコ・アシストは、平成25年1月21日付で、(株)ユーアイ・テクノ・サービスを存続会社とし、(株)エスコ・アシストを消滅会社とする吸収合併を行なったことに伴い、当該子会社が消滅いたしました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出いたしました。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,230	3,146,855
受取手形及び売掛金	<u>3,037,813</u>	<u>2,800,878</u>
電子記録債権	—	35,351
商品	38,718	48,814
仕掛品	132,108	<u>125,576</u>
原材料及び貯蔵品	2,934	8,182
繰延税金資産	<u>167,280</u>	<u>259,957</u>
その他	57,736	84,435
貸倒引当金	<u>△1,976</u>	<u>△1,628</u>
流動資産合計	<u>6,255,846</u>	<u>6,508,423</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	<u>264,409</u>	<u>265,654</u>
工具、器具及び備品(純額)	56,947	43,149
土地	737,854	737,854
リース資産(純額)	—	25,270
有形固定資産合計	<u>1,059,211</u>	<u>1,071,929</u>
無形固定資産	94,716	72,976
投資その他の資産		
投資有価証券	59,410	75,046
敷金及び保証金	110,299	158,711
繰延税金資産	<u>308,661</u>	<u>309,223</u>
その他	23,795	24,559
貸倒引当金	<u>△5,873</u>	<u>△5,981</u>
投資その他の資産合計	<u>496,293</u>	<u>561,558</u>
固定資産合計	<u>1,650,221</u>	<u>1,706,464</u>
資産合計	<u>7,906,068</u>	<u>8,214,887</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,647,404	1,415,389
短期借入金	310,000	205,000
未払金	168,162	157,390
未払費用	348,405	342,233
リース債務	—	2,860
未払法人税等	113,646	227,207
前受金	1,020,779	1,013,427
賞与引当金	286,295	518,516
工事損失引当金	3,514	1,290
その他	98,748	65,944
流動負債合計	3,996,955	3,949,262
固定負債		
退職給付引当金	851,326	869,068
役員退職慰労引当金	17,943	11,842
長期未払金	10,252	10,252
リース債務	—	22,409
負ののれん	325	81
固定負債合計	879,848	913,655
負債合計	4,876,803	4,862,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,398,902	2,712,117
自己株式	△1,303	△1,303
株主資本合計	3,031,679	3,344,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,414	7,076
その他の包括利益累計額合計	△2,414	7,076
純資産合計	3,029,264	3,351,970
負債純資産合計	7,906,068	8,214,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年4月20日)
売上高	9,078,585	9,074,816
売上原価	6,641,907	6,413,900
売上総利益	2,436,677	2,660,915
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	11,990	11,990
給料及び手当	891,058	879,125
賞与引当金繰入額	236,102	260,140
退職給付費用	82,275	71,426
役員退職慰労引当金繰入額	2,248	2,089
福利厚生費	80,092	77,766
賃借料	79,708	98,494
減価償却費	57,671	46,403
その他	619,727	595,362
販売費及び一般管理費合計	2,060,874	2,042,797
営業利益	375,802	618,117
営業外収益		
受取利息	119	165
受取配当金	1,676	3,361
受取手数料	3,266	5,331
受取保険金	1,926	296
負ののれん償却額	244	244
その他	2,939	4,569
営業外収益合計	10,173	13,969
営業外費用		
支払利息	2,100	2,167
その他	386	1,279
営業外費用合計	2,487	3,447
経常利益	383,488	628,639
特別損失		
固定資産除却損	590	433
本社移転費用	—	9,110
特別損失合計	590	9,544
税金等調整前四半期純利益	382,897	619,094
法人税、住民税及び事業税	228,483	350,417
法人税等調整額	△12,820	△98,485
法人税等合計	215,662	251,931
少数株主損益調整前四半期純利益	167,234	367,162
四半期純利益	167,234	367,162

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年4月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>167,234</u>	<u>367,162</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	<u>△1,558</u>	<u>9,491</u>
その他の包括利益合計	<u>△1,558</u>	<u>9,491</u>
四半期包括利益	<u>165,676</u>	<u>376,654</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>165,676</u>	<u>376,654</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年4月20日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年7月21日 至 平成24年4月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,414,771	2,563,579	1,100,234	9,078,585	—	9,078,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	167,464	10,930	124,226	302,622	△302,622	—
計	5,582,236	2,574,510	1,224,460	9,381,207	△302,622	9,078,585
セグメント利益又は損失(△)	501,952	31,928	△158,078	375,802	—	375,802

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年4月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

従来、「フィールドサポート事業」に区分していた(株)エスコ・アシストは、平成25年1月21日付で「ソフトウェアサポート事業」に区分していた(株)ユーアイ・テクノ・サービスを存続会社とした吸収合併を行ないました。

(株)ユーアイ・テクノ・サービスに含まれることとなったフィールドサポート事業を区分して把握しているため、報告セグメントの変更はありません。

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,567,503	2,591,754	915,558	9,074,816	—	9,074,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152,220	10,384	144,753	307,358	△307,358	—
計	5,719,724	2,602,139	1,060,311	9,382,175	△307,358	9,074,816
セグメント利益又は損失(△)	611,938	48,710	△42,531	618,117	—	618,117

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年4月20日）

該当事項はありません。

(訂正前)

平成25年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月23日

上場会社名 ウチダエスコ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武井 均  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)久保 博幸 (TEL)047(382)4141  
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第3四半期の連結業績(平成24年7月21日～平成25年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	9,090	0.2	640	69.3	651	68.6	370	118.1
24年7月期第3四半期	9,070	10.0	378	△18.8	386	△18.8	169	△36.2

(注) 包括利益 25年7月期第3四半期 380百万円(125.8%) 24年7月期第3四半期 168百万円(△35.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第3四半期	103.07	—
24年7月期第3四半期	47.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第3四半期	8,234	3,378	41.0
24年7月期	7,909	3,052	38.6

(参考) 自己資本 25年7月期第3四半期 3,378百万円 24年7月期 3,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年7月期	—	0.00	—		
25年7月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年7月21日～平成25年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	1.6	710	19.1	720	18.1	430	44.3	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年7月期3Q	3,600,000株	24年7月期	3,600,000株
② 期末自己株式数	25年7月期3Q	3,473株	24年7月期	3,473株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年7月期3Q	3,596,527株	24年7月期3Q	3,596,527株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期のはじめは主要新興国も含めた世界的な景気減速や円高の長期化などの要因により、輸出や生産が落ち込みましたが、その後の米国経済をはじめとした海外経済の緩やかな回復並びに12月に発足した新政権の経済政策期待から株高、円安が進行、生産や個人消費が持ち直すなど景気改善の動きが見られました。

このような環境下、当連結グループは、第8次中期経営計画を推進、本中計の最終年度となる当連結会計年度においては、クラウドコンピューティングに対応するサーバー等の仮想化案件への取り組み強化など、「高付加価値技術戦略の推進（質の転換）」、「サービス・サポート品質の向上」、「経営基盤の更なる強化」を重点施策に掲げ、その着実な達成に向けて取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、中核のフィールドサポート事業が着実に売上を伸ばし、業容を拡大するとともに、オフィスシステム事業も堅調に推移、また、ソフトウェアサポート事業においてもプロジェクト管理の強化を図り、事業採算が改善した結果、売上高は90億9千万円（前年同四半期比0.2%増）と微増ながら、利益面では売上総利益率が29.5%と2.6ポイント向上したことにより、売上総利益は26億8千万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益は6億4千万円（同69.3%増）、経常利益は6億5千1百万円（同68.6%増）、四半期純利益は3億7千万円（同118.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

## (フィールドサポート事業)

「量の拡大」（第一のエンジン）としては、コンピュータメーカーやシステムインテグレーターへの営業強化、更なる生産性の向上を図ることにより、保守・ネットワーク構築案件の取扱量の拡大に取り組むと同時に、「質の転換」（第二のエンジン）としては、CE（カスタマーエンジニア）のSE化の推進並びにクラウドコンピューティング市場に対応出来る仮想化技術者の増強を図り、仮想化案件の獲得に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、学校市場、民間市場双方における案件受注が増加した結果、売上高は55億6千9百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は6億1千4百万円（同21.5%増）と増収、増益となりました。

## (オフィスシステム事業)

きめ細かな販売促進活動による直接販売の強化、顧客ニーズに即したWebビジネス（Net 2 B）の推進による受注拡大並びに当社の有する様々なICT関連サービス&サポートを提供するワンストップの商談推進に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、各種チャネルを通じた販売強化、オフィス移転案件の増加により増収となりました。また、受発注業務のWeb活用等によりコスト低減を図った結果、売上高は26億3百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は5千4百万円（同42.8%増）となりました。

## (ソフトウェアサポート事業)

市町村をはじめとしたサポート案件の受注拡大、生産性向上によるコスト削減、見積精度の向上並びにプロジェクトマネジメントシステム（P r o m i s e）の運用強化によるサポート品質の向上を課題に掲げ、取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、前期の大型の市町村サポート案件の反動もあり、売上減となりましたが、プロジェクト管理の徹底等によりコスト統制に努めた結果、利益面で大幅に改善することができました。売上高は9億1千6百万円（前年同四半期比15.3%減）、営業損失2千8百万円（前年同四半期は営業損失1億6千5百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、82億3千4百万円と前連結会計年度末比3億2千5百万円増加しました。これは流動資産が、受取手形の減少（3億1百万円）等はありませんでしたが、現預金の増加（3億2千5百万円）、繰延税金資産の増加（9千1百万円）、売掛金の増加（7千7百万円）等により2億6千8百万円増加し、固定資産が、敷金及び保証金の増加（4千8百万円）等により5千6百万円増加したことにより増えます。流動負債は、賞与引当金の増加（2億3千2百万円）、未払法人税等の増加（1億2千万円）、買掛金の増加（7千3百万円）等はありませんでしたが、支払手形の減少（2億9千6百万円）、短期借入金の減少（1億5百万円）、預り金の減少（6千1百万円）等により前連結会計年度末比3千4百万円減少し、固定負債は、リース債務の増加（2千2百万円）等により3千3百万円増加しました。純資産は、33億7千8百万円と前連結会計年度末比3億2千6百万円増加し、自己資本比率は、41.0%と前連結会計年度末比2.4ポイント上昇しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の連結業績見通しは、平成24年8月31日付「平成24年7月期決算短信」にて公表しました数値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった(株)エスコ・アシストは、平成25年1月21日付で、(株)ユーアイ・テクノ・サービスを存続会社とし、(株)エスコ・アシストを消滅会社とする吸収合併を行なったことに伴い、当該子会社が消滅いたしました。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,230	3,146,855
受取手形及び売掛金	<u>3,052,232</u>	<u>2,828,488</u>
電子記録債権	—	35,351
商品	38,718	48,814
仕掛品	132,108	<u>129,701</u>
原材料及び貯蔵品	2,934	8,182
繰延税金資産	<u>152,312</u>	<u>243,945</u>
その他	57,736	84,435
貸倒引当金	<u>△1,976</u>	<u>△1,628</u>
流動資産合計	<u>6,255,297</u>	<u>6,524,146</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	<u>270,888</u>	<u>272,461</u>
工具、器具及び備品（純額）	56,947	43,149
土地	737,854	737,854
リース資産（純額）	—	25,270
有形固定資産合計	<u>1,065,690</u>	<u>1,078,736</u>
無形固定資産	94,716	72,976
投資その他の資産		
投資有価証券	59,410	75,046
敷金及び保証金	110,299	158,711
繰延税金資産	<u>306,199</u>	<u>306,636</u>
その他	23,795	24,559
貸倒引当金	<u>△5,873</u>	<u>△5,981</u>
投資その他の資産合計	<u>493,831</u>	<u>558,972</u>
固定資産合計	<u>1,654,238</u>	<u>1,710,684</u>
資産合計	<u>7,909,535</u>	<u>8,234,831</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645,404	1,421,440
短期借入金	310,000	205,000
未払金	168,162	157,390
未払費用	348,405	342,233
リース債務	—	2,860
未払法人税等	110,015	230,855
前受金	1,005,205	995,076
賞与引当金	286,295	518,516
工事損失引当金	3,514	1,290
その他	100,271	67,844
流動負債合計	3,977,274	3,942,509
固定負債		
退職給付引当金	851,326	869,068
役員退職慰労引当金	17,943	11,842
長期未払金	10,252	10,252
リース債務	—	22,409
負ののれん	325	81
固定負債合計	879,848	913,655
負債合計	4,857,122	4,856,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,422,050	2,738,813
自己株式	△1,303	△1,303
株主資本合計	3,054,827	3,371,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,414	7,076
その他の包括利益累計額合計	△2,414	7,076
純資産合計	3,052,413	3,378,667
負債純資産合計	7,909,535	8,234,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年4月20日)
売上高	9,070,210	9,090,024
売上原価	6,631,131	6,409,291
売上総利益	2,439,079	2,680,733
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	11,990	11,990
給料及び手当	891,058	876,704
賞与引当金繰入額	236,102	260,140
退職給付費用	82,275	71,426
役員退職慰労引当金繰入額	2,248	2,089
福利厚生費	80,092	77,766
賃借料	79,708	98,494
減価償却費	57,342	46,074
その他	619,727	595,362
販売費及び一般管理費合計	2,060,546	2,040,048
営業利益	378,532	640,684
営業外収益		
受取利息	119	165
受取配当金	1,676	3,361
受取手数料	3,266	5,331
受取保険金	1,926	296
負ののれん償却額	244	244
その他	2,939	4,569
営業外収益合計	10,173	13,969
営業外費用		
支払利息	2,100	2,167
その他	386	1,279
営業外費用合計	2,487	3,447
経常利益	386,218	651,206
特別損失		
固定資産除却損	590	433
本社移転費用	—	9,110
人事制度変更による一時費用	—	10,572
特別損失合計	590	20,116
税金等調整前四半期純利益	385,627	631,089
法人税、住民税及び事業税	228,483	357,696
法人税等調整額	△12,829	△97,317
法人税等合計	215,654	260,378
少数株主損益調整前四半期純利益	169,973	370,710
四半期純利益	169,973	370,710

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年4月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年4月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	169,973	370,710
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,558	9,491
その他の包括利益合計	△1,558	9,491
四半期包括利益	168,414	380,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,414	380,202
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年4月20日）

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年7月21日 至 平成24年4月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,418,108	2,570,056	1,082,046	9,070,210	—	9,070,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	167,464	10,930	124,226	302,622	△302,622	—
計	5,585,572	2,580,987	1,206,272	9,372,832	△302,622	9,070,210
セグメント利益又は損失(△)	505,531	38,429	△165,427	378,532	—	378,532

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年4月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

従来、「フィールドサポート事業」に区分していた(株)エスコ・アシストは、平成25年1月21日付で「ソフトウェアサポート事業」に区分していた(株)ユーアイ・テクノ・サービスを存続会社とした吸収合併を行ないました。

(株)ユーアイ・テクノ・サービスに含まれることとなったフィールドサポート事業を区分して把握しているため、報告セグメントの変更はありません。

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,569,588	2,603,650	916,785	9,090,024	—	9,090,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152,220	10,384	144,753	307,358	△307,358	—
計	5,721,808	2,614,035	1,061,538	9,397,383	△307,358	9,090,024
セグメント利益又は損失(△)	614,273	54,867	△28,456	640,684	—	640,684

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年4月20日）

該当事項はありません。